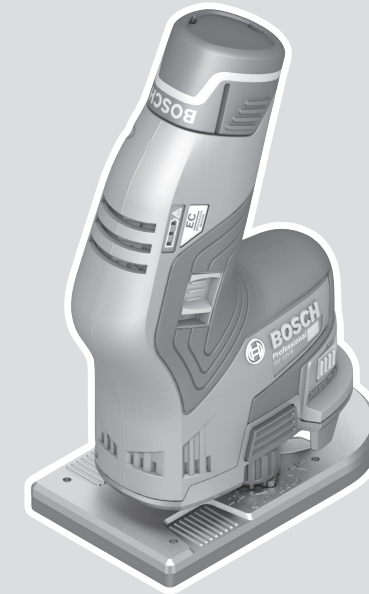




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ : <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 401

1 609 92A 401 (2018.09)

コードレストリマー
GKF 10.8V-8H 型 (本体のみ)



取扱説明書

このたびは、弊社コードレストリマーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目 次

●安全上のご注意

警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
コードレストリマーについての注意事項	9
充電器についての注意事項	16

●リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	17
-------------------------------	----

●本製品について

用 途	18
仕 様	18
各部の名称	19
標準付属品	20

●使い方

バッテリー（別売）を準備する	21
作業前の準備をする	24
作業する	30

●困ったときは

故障かな？と思ったら	35
修理を依頼するときは	36

●お手入れと保管

クリーニング	37
保 管	37
給 油	38

ご安全
上
注
意
の

のリ
サイ
クル
に
た
め
に

つ本
製
い
品
てに

使
い
方

困
っ
た
と
き
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

ご安全 注意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

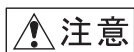
ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ **危険** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ **警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お問い合わせいただいたコードレストリマーには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 危 険

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

ご安全
注意の
意の

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

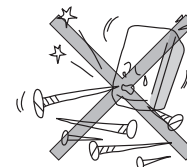


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。



警 告

ご安全
注 意
の

1. 正しく充電してください。

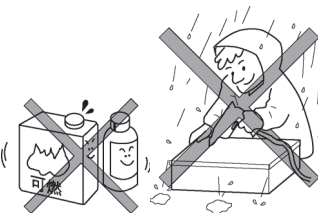
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

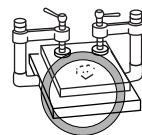
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注上
意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

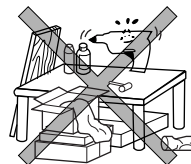


注 意

ご安全
注 意
の

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

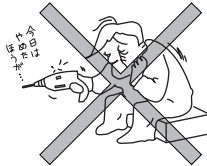
- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

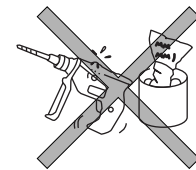
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。



14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレストリマーについての注意事項

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、コードレストリマーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
上注
意の



警 告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った電動工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない電動工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、トリマー本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
4. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
5. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。
 - ◆ トリマー操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

6. 保護面や保護めがねなどの保護具を着用してください。必要に応じて、防じんマスクや防音保護具（耳栓など）、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、手袋、作業用エプロンを着用してください。
 - ◆ 防護用具を着用することで、けがの防止につながります。
7. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリ以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、安全に作業できない恐れがあります。
8. 電動工具の警告ラベルに書かれた定格速度に合ったルータービットを使用してください。
 - ◆ ルータービットが定格速度を超えると回転中に破損し、けがの原因になります。
9. ルータービットのサイズに合ったコレットを使用してください。
 - ◆ サイズが合っていないとバランスが取れず、過度に振動してトリマー本体をコントロールできなくなる恐れがあります。
10. 先端工具を交換するときは、保護手袋を着用してください。
 - ◆ 長時間使用した先端工具は、熱くなります。
11. 使用に問題がないことを確認してください。
取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などがあった場合は使用せず、修理をご依頼ください。
 - ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
 - ◆ 損傷したトリマーを使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。
12. クランプや万力などで、材料を安定した台に固定・保持してください。材料を手で持ったり、身体で支えたりすると安定しないため、トリマーがコントロールしにくくなります。
 - ◆ 材料が確実に固定されていないと、けがの原因になります。

13. 木を彫る場合は、加工部に釘や異物がないことを確認してください。

◆ 釘や異物があると、ルータービットが跳ねる原因になります。

14. 雨中での作業は行わないでください。また、トリマー本体を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。

◆ 感電の恐れがあります。

15. 可燃性の液体・ガス・粉じんが発生し、爆発しやすい環境で作業しないでください。

◆ 本体から火花が出ると、引火する恐れがあります。

16. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ずスイッチが“切”になっていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、トリマー本体を持ち上げたりしてください。

◆ 「メインスイッチ」が“入”の状態ではバッテリーを取り付けたりすると、事故の原因になります。

17. 必ずトリマー本体を作動させてから、材料に当ててください。

◆ 「メインスイッチ」を“入”にしてから、材料に当てないと、ルータービットが材料に挟まれるなど、キックバックが発生する恐れがあります。

18. 作業中は、トリマー本体を確実に保持してください。

◆ 確実に保持していないと振り回されたりし、けがの原因になります。

19. 金属製の材料や釘、ネジを切断しないでください。

◆ 切断するとルータービットが破損し、けがの原因になります。

20. 作業中は、ルータービットや切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。また、材料の下に手を入れないでください。

◆ けがの原因になります。

21. ルータービットは手入れをし、鋭利さを保ってください。

◆ 刃先が鋭利ならストレスなく、トリマー本体がコントロールできます。

ご安全
注意の

22. 切れ味の鈍くなったルータービットや損傷したルータービットを使用しないでください。
- ◆ ルータービットの切れ味が鈍くなるとトリマー本体を強く押すことになり、ビットを破損させる原因になります。
 - ◆ 損傷したビットを使用していると、ポキッと折れる恐れがあります。
23. 作業中にトリマー本体の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を“切”にしてください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。
24. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整や付属品の交換、運搬、保管をするときは、必ずトリマー本体からバッテリーを取り外してください。
- ◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。
25. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。
- ◆ 気が散ると集中できなくなります。
26. 「メインスイッチ」を“入”にしたまま、トリマー本体を持ち運ばないでください。
- ◆ 回転しているルータービットが思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
27. ルータービットの動きが完全に停止するまでは、トリマー本体を床やテーブルなどに置かないでください。
- ◆ ルータービットが回転していると、表面に引っ掛かり、トリマー本体が引っ張られることがあります。
28. 誤って落としたり、ぶつかったりしたときは、ルータービットやトリマー本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

29. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。
- 特に桎材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物(クロム酸、防腐剤)は発がん性があると考えられています。
- アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
- ・ できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。
 - ・ 作業場所の換気に注意してください。
 - ・ D S 2 クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。
 - ◆ 作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。
30. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、トリマー本体が冷めるための時間を設けてください。
- ◆ 複数個による連続作業は、トリマー本体に支障をきたすばかりでなく、トリマー本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
31. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 of 診断を受けてください。
- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
32. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
- ◆ バッテリーから漏れた液は、炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
33. バッテリーを開けないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。

ご安全
注意の

34. バッテリーは、釘やドライバーなど尖ったものと一緒に保管したり、強い衝撃を与えたりしないでください。尖ったものや外からの強い力でバッテリーが傷つく場合があります。
- ◆ バッテリーが傷つくと、内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
35. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。
- ◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
36. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、トリマーの取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。
- ◆ 教育を受けていない人の操作は大変危険です。

 注 意

ご安全
注意の

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
2. アクセサリー交換後や各種調整後は、各部の固定ネジ（コレットナット）など、調整部がしっかり締め付けられていることを確認してください。
 - ◆ 調整部が緩んでいると、トリマー本体が予期せぬ動きをしてコントロールができなくなります。
3. 「メインスイッチ」を“入”にするときは、トリマー本体の回転部が身体に接触していないことを確認してください。
 - ◆ 接触したままスイッチを入れると、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
5. トリマー本体を無理に強く押しつけて使用しないでください。
 - ◆ 過度に荷重をかけると研削能力が低下するうえに、仕上げもきたなくなります。また、モーターの故障の原因にもなりますので注意してください。
6. 使用直後のルータービットやコレットに触れないでください。
 - ◆ 使用直後のルータービットやコレットは高温になるため、やけどの恐れがあります。

充電器についての注意事項

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警 告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適応した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
3. やむを得ず、湿気の多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
4. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
6. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
7. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
8. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

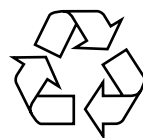
リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシュ電動工具取扱店、ポッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
た
め
に

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

用 途

- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の彫刻
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の面取り
- ◆ 木材、プラスチック、軽量建築材等の溝切り

仕 様

本
製
品
に
関
する
説
明

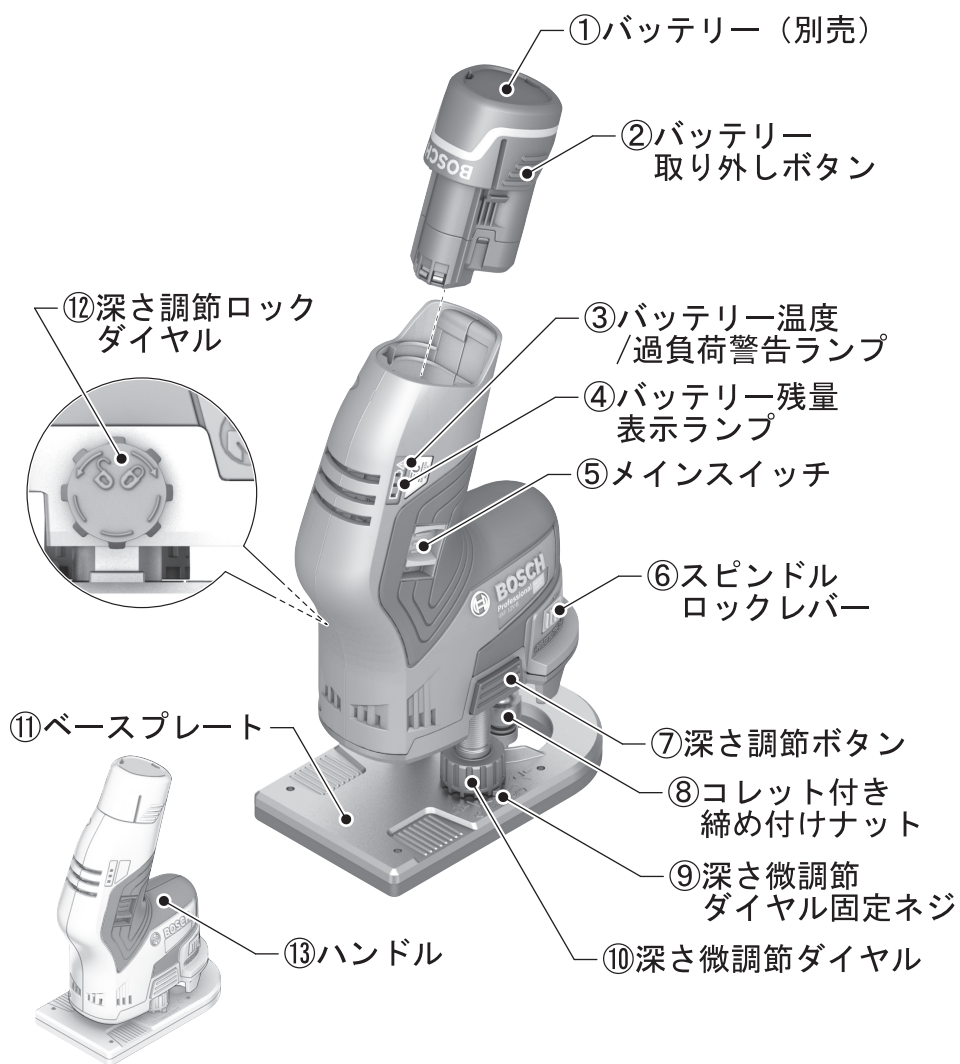
本 体

品 番	GKF10. 8V-8H (本体のみ)
定格電圧	DC10. 8V
無負荷回転数	13000min ⁻¹ (回転/分)
使用可能コレット径	6mm、6. 35mm、8mm
最大切削深さ	36mm
質 量	1. 3kg *1
振動 3 軸合成値	2. 5m/s ² (EN60745-2-17 規格に基づき測定)
原産国	ハンガリー
推奨バッテリー	10. 8V リチウムイオンバッテリー

*1 2. 0Ah バッテリー装着時

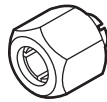
*2 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

各部の名称

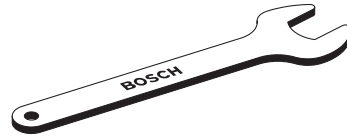


◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品



6.0mm コレット付き締め付けナット



スパナ

本
製
品
に
つ
き

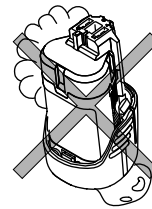
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

バッテリー（別売）を準備する

● バッテリー（別売）を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？



● バッテリー（別売）を充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- ☞ リチウムイオンバッテリーは、バッテリーの寿命を縮めることなく、いつでも充電が可能です。充電を途中でやめてもバッテリーを傷めることはありません。
- ☞ バッテリー①の充電状態は、バッテリー残量表示ランプ④で確認することができます。

使
い
方



危険

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー①を充電してください。

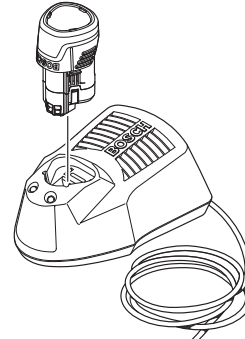


警告

- ◆ バッテリー①が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ◆ 電源に 100V が確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは必ず事前に確認してください。
- ◆ バッテリー挿入口に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 充電器にバッテリー①を差し込みます。
充電が始まります。
3. 充電が終わったら、バッテリー①を充電器
から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから
抜きます。



- ☞ バッテリー①は、出荷時に多少充電されていますが、初めて使用される場合は、充電器でバッテリー①をフル充電し、完全に充電されたことを確認してください。
- ☞ 本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。
トリマー本体が過負荷になった場合やバッテリー①が過放電または使用温度範囲外になった場合、バッテリー保護のためにトリマー本体が自動的に停止します。
- ☞ 電子セル保護システム（ECP機能）が作動して、トリマー本体が自動的に停止したときは、必ず「メインスイッチ⑤」を“切”にしてください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー①の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー①と交換してください。

● バッテリーを取り付ける・取り外す

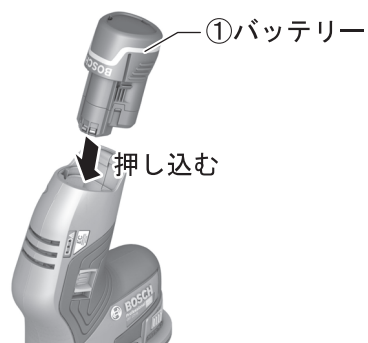


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ⑤」が“入”になっていないことを確認し、「メインスイッチ⑤」に触れないように注意してください。

取り付け

バッテリー①を、トリマー本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

「バッテリー取り外しボタン②」を両側から押しながら、バッテリー①を抜き取ります。



使
い
方

作業前の準備をする

-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、トリマー本体からバッテリー①を取り外してください。

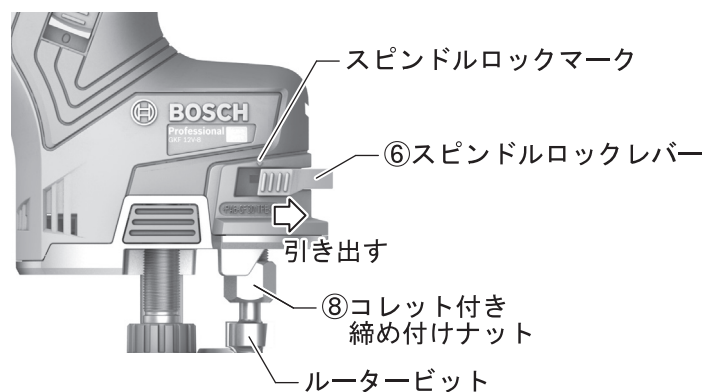
● コレットを取り付ける・取り外す

使用したいルータービットのサイズとコレット付き締め付けナット⑧のコレットサイズが合わないときは、コレット付き締め付けナット⑧を交換してください。

-  **警告** ◆ ルータービットのサイズに合ったコレットを使用してください。サイズが合っていないとバランスが取れず、過度に振動してトリマー本体をコントロールできなくなる恐れがあります。

使
い
方

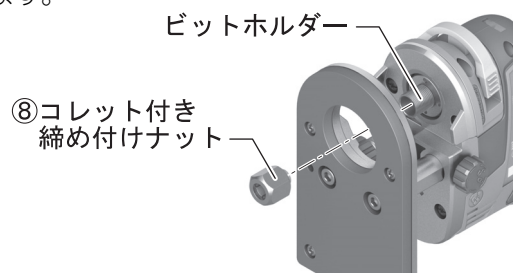
取り外し



1. ルータービットが取り付けられているときは、ルータービットを取り外します。
(27 ページ「ルータービットを取り付ける・取り外す」の“取り外し”参照)
2. スピンドルロックレバー⑥をスピンドルロックマークまで引き出します。
3. コレット付き締め付けナット⑧を、スパナ（標準付属品）で反時計回りに回して取り外します。

取り付け

1. ビットホルダーにサイズの合ったコレット付き締め付けナット⑧を取り付けます。



2. コレット付き締め付けナット⑧を、手で時計回りに回して仮締めします。

 ルータービットが挿入されていない状態でコレット付き締め付けナット⑧を締め付けすぎないでください。コレットが損傷する恐れがあります。

3. スピンドルロックレバー⑥を本体側に押し込み、もとの位置に戻します。
スピンドルがロックします。

使
い
方

● ルータービットを取り付ける・取り外す

工程や用途に合わせてルータービットを選択してください。
ルータービットの形状によって切削面が異なります。

注意

- ◆ 傷んでいない完全な状態のルータービットのみを使用してください。汚れたり破損したりしているルータービットは破損、不良切削、並びに跳ね返りにつながります。
- ◆ ルータービットの取り付け・取り外し作業をするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
- ◆ 作業直後はルータービットが高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。

取り付け

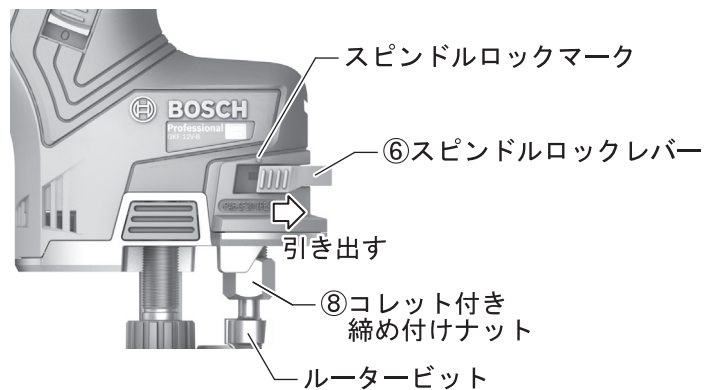


警告

◆ ルータービットのサイズに合ったコレットを使用してください。

サイズが合っていないときは、コレット付き締め付けナット⑧を交換してください。(24 ページ「コレットを取り付ける・取り外す」参照)

1. スピンドルロックレバー⑥をスピンドルロックマークまで引き出します。



2. コレット付き締め付けナット⑧をスピンドルがロックするまで手で回します。スピンドルにはかみ合う位置 (60° ごと 6 か所) があります。
3. コレット付き締め付けナット⑧を、スパナ (標準付属品) で反時計回りに回して緩めます。
4. ルータービットをコレット付き締め付けナット⑧のコレットに挿入します。
 ルータービットの軸を 20mm 以上コレットに挿入してください。
5. コレット付き締め付けナット⑧をスパナで時計回りに回して締めます。必要以上にコレット付き締め付けナット⑧をきつく締めないように注意してください。
6. スピンドルロックレバー⑥を本体側に押し込み、もとの位置に戻します。
スピンドルがロックします。

7. ルータービットを引いて、確実に取り付けられているか確認します。
抜けたり、緩んだりしていなければ取り付け完了です。

取り外し

1. スピンドルロックレバー⑥をスピンドルロックマークまで引き出します。
2. スピンドルがロックするまで手でコレット付き締め付けナット⑧を回します。スピンドルにはかみ合う位置 (60° ごと 6 か所) があります。
3. コレット付き締め付けナット⑧を、スパナ (標準付属品) で反時計回りに回して緩めます。
4. ルータービットを引き抜きます。
5. コレット付き締め付けナット⑧を、手で時計回りに回して仮締めします。
 ルータービットが挿入されていない状態でコレット付き締め付けナット⑧を締め付けすぎないでください。コレットが損傷する恐れがあります。
6. スピンドルロックレバー⑥を本体側に押し込み、もとの位置に戻します。

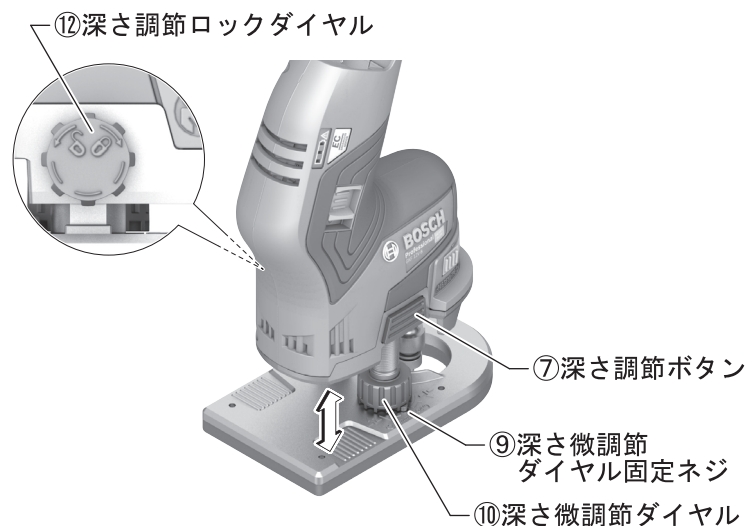
使
い
方

● 切削深さを調節する



注意

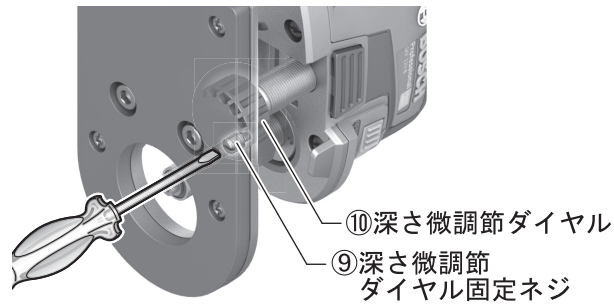
◆ 電源が入っているときは、切削深さの調節を行わないでください。



使
い
方

1. ルータービットを取り付けたトリマー本体を作業する材料の上に置きます。
2. 深さ調節ロックダイヤル⑫を半周ほど反時計回りに回して、深さ調節のロックを解除します。
3. 「深さ調節ボタン⑦」を押して保持します。
4. トリマー本体をゆっくり上下させ、任意の切削深さに調節します。
5. 「深さ調節ボタン⑦」から、手を放します。

6. 深さ微調節ダイヤル固定ネジ⑨をドライバーで緩めます。
深さ微調節ダイヤル固定ネジ⑨は、深さ微調節ダイヤル⑩が回せる位置まで緩めてください。



7. 深さ微調節ダイヤル⑩を回して、切削深さを正確に合わせます。
深さ微調節ダイヤル⑩1 回転当たり、深さが 1mm 変わります。
8. 深さ調節ロックダイヤル⑫を半周ほど時計回りに回して、深さ調節をロックします。
9. 試し加工し、切削深さを確認します。
10. 必要に応じて、深さ微調節ダイヤル⑩で微調整します。
調整の必要がない場合は、深さ微調節ダイヤル固定ネジ⑨をドライバーで締めて、深さ微調節ダイヤル⑩を固定します。

使
い
方

作業する



注意

- ◆ 必ずルータービットの回転方向とは逆の方向に本体を移動させてください。(33 ページ「作業のヒント」参照)
ルータービットの回転方向と同じ方向に本体を移動させると、動きが乱れ、トリマー本体をコントロールできなくなる可能性があります。



ルータービットは常にベースプレート⑪から出ているので、テンプレートや材料を傷めないように注意してください。

1 材料を確実に固定する

材料の固定には、クランプや万力を使用してください。

使 い 方

2 ルータービットを点検する

ルータービットが欠けていたり、摩耗したりしていないか点検してください。

3 切削深さを確認する

切削深さが正しく設定されているか確認してください。

4 トリマー本体にバッテリーを取り付ける



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「メインスイッチ⑤」が“入”になっていないことを確認し、「メインスイッチ⑤」に指を掛けないように注意してください。
- ◆ 使用するバッテリー①は、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。本機に合わないバッテリーを使用すると、故障や破損の原因になります。

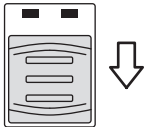
充電したバッテリー①をトリマー本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。

5 電源を入れる

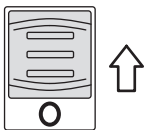
本体をしっかり持ち、起動します。

スイッチの入/切

入 “I”：「メインスイッチ⑤」をベースプレート①側にスライドさせます。



切 “O”：「メインスイッチ⑤」をバッテリー①側にスライドさせます。



バッテリー残量表示

バッテリー①の充電状態を、バッテリー残量表示ランプ④で確認することができます。

「メインスイッチ⑤」を “入” にすると、バッテリー残量表示ランプ④が点灯します。

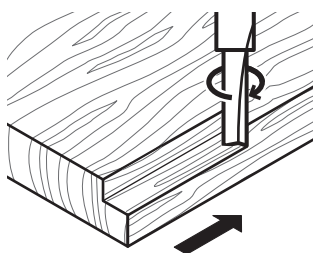
バッテリー残量表示ランプ	残量
緑ランプ 3 つ点灯	2/3 以上
緑ランプ 2 つ点灯	1/3 以上
緑ランプ 1 つ点灯	1/3 以下
緑ランプ 1 つ点滅	要充電

「メインスイッチ⑤」を “入” にしても、バッテリー残量表示ランプ④が 1 つも点灯・点滅しないときは、バッテリー①が破損しています。
バッテリー①を交換してください。

⑥ 切削を始める

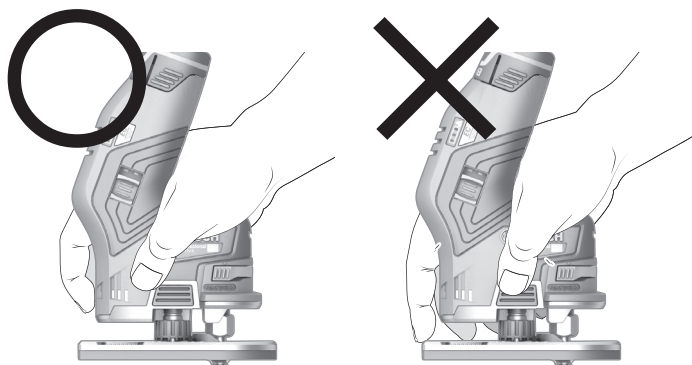
回転速度が十分に上昇したらルータービットを材料に当て、けがき線または材料に沿ってゆっくりと一定の速度で切削作業を行います。

- ☞ 始めは、ルータービットをゆっくり材料に押しつけてください。
- ☞ ベースプレート⑩は、材料の表面にぴったりと当ててください。
- ☞ トリマー本体を早く動かそうとおりに押して負荷を掛けたりすると、回転速度が減速します。圧力を弱めると、元の回転速度に戻ります。



使
い
方

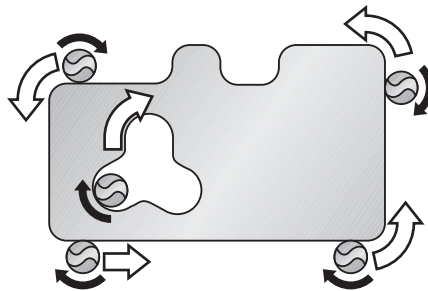
トリマーは、ベースプレート⑩やボタンなどに指が掛からないように持ってください。



<作業のヒント>

トリマーは、奥から手前に移動するときは右側に、手前から奥に向かって移動するときは左側に寄る性質があります。

下図のようにトリマー本体を動かすと本体と材料が離れにくく、より正確に作業が行えます。



バッテリー温度/過負荷警告ランプ

本体が過負荷になった場合やバッテリー①の温度が許容範囲を超えている場合には、バッテリー温度/過負荷警告ランプ③が赤色で点灯して本体が自動的に停止します。

- 1) 「メインスイッチ⑤」を“切（○）”にします。
- 2) バッテリー①と本体が冷めるのを待ちます。
- 3) バッテリー①と本体が冷めたら、「メインスイッチ⑤」を“入（Ⅰ）”にします。

ルータービットが材料に引っ掛かり動きがとれなくなった場合などには、バッテリー温度/過負荷警告ランプ③が赤色で点滅して本体が自動的に停止します。

- 1) 「メインスイッチ⑤」を“切（○）”にします。
☞ トリマーを作動させたままにすると、ビットの刃先が材料に固着し、コントロールできなくなります。また、電源を入れたままの状態から引き離すと、工具が不意に動き出し、重傷を負う恐れがあります。
- 2) バッテリーをトリマー本体から取り外します。
- 3) トリマー本体を材料から引き離します。
必要に応じて、スピンドルのロックを解除してください

使
い
方

ドロップシャットダウン機構

電動工具が落下した場合など、本体が衝撃を受けると電動工具の作動が停止します。

再始動させるには、「メインスイッチ⑤」を“切”にし、再度“入”にしてください。

7 切削を終える

切削作業が終了したら、「メインスイッチ⑤」を“切 (○)” にします。
ルータービットが完全に止まるまでは本機を置かないでください。慣性で回転しているビットでけがをする恐れがあります。

● エッジ加工・型加工

使 い 方

材料の縁を切削するときや、輪郭を切削するときは、パイロットピンまたはボールベアリング付きのミーリングカッターを使用してください。ボッシュではボールベアリング付きミーリングカッターの使用をお勧めします。

トリマー本体を垂直に保ち、ルータービットのパイロットピンまたはボールベアリングが材料に当たるまで横からトリマー本体を近づけます。材料の側面に沿って軽く材料に押し付けるようにしながらトリマー本体を一定の速度で動かしてください。(動かす方向については、33 ページ「作業のヒント」を参照してください)

- 正しい角度でトリマー本体がワークの上に載るようにしてください。
- 本体を早く動かそうとむりに押して負荷を掛けたりすると、材料の縁を傷つけます。

エッジ加工または輪郭加工の材料ごとの最大寸法は下記のとおりです。

材 料	R 面取り	面取り
堅い木材	10mm	6mm
軟らかい木材	12mm	10mm
プラスチック	12mm	10mm
MDF (中密度繊維板)	12mm	10mm
合 板	10mm	6mm

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ⑤」を “入”にしても動かない	バッテリー①が取り付け られていない	バッテリー①を取り付け る
	バッテリー①が消耗して いる	バッテリー①を充電す る、または交換する
	トリマー本体の温度が作 業可能温度範囲外になっ ている	作業可能温度範囲内にな るまで待つ
充電してもフル充電しな い、またはフル充電して も使用時間が短い	バッテリー①の寿命が尽 きた	バッテリー①を交換する
切削に時間がかかる	ルータービットが摩耗し ている	ルータービットを交換す る

困
っ
た
と
き
は

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9:00～午後 5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪 1464 番地 4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

お手入れと保管



警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー①をトリマー本体から取り外してお手入れしてください。

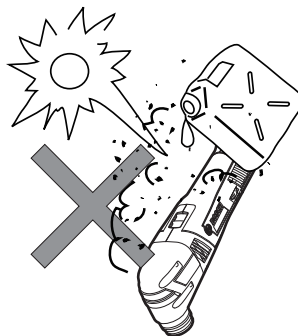
クリーニング

- 通風口などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 本体に付いたゴミ、ホコリを掃除機・塗装用刷毛・ハンドブラシなどで掃除する
- ガイドコラムに付いた木くずを取り除く

保 管

● トリマーを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- バッテリーは保管温度範囲（ -20°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ ）外になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性の高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

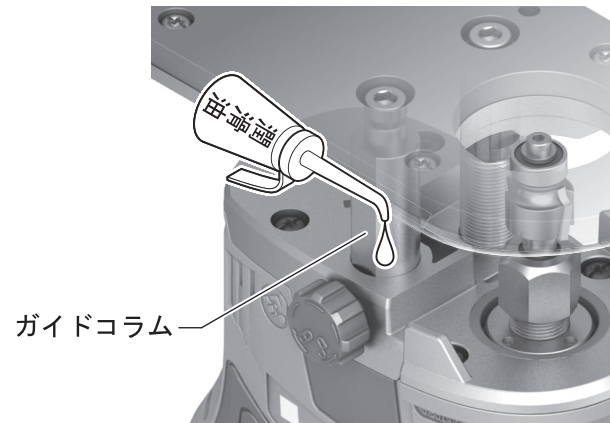


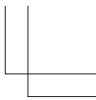
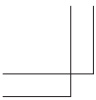
保
お
手
入
れ
と
管

給 油

● ガイドコラムに潤滑油（市販品）をさす

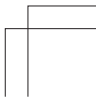
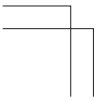
ガイドコラムがスムーズに動くように、潤滑油を一滴さします。





MEMO

Lined area for memo content, consisting of 25 horizontal lines.



A blank coordinate plane with a horizontal x-axis and a vertical y-axis intersecting at the origin. The axes are represented by thin black lines.